

# IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

- IATSS Research Vol.42, Issue 2発行
- 第59回IATSSフォーラム修了

## IATSS Research Vol. 42, Issue 2 発行

IATSS Research Vol. 42, Issue 2が発行されました。

Elsevier Ltd.のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/42/issue/2>

### <Special Feature/ “Beyond ITS: Smart Mobility in Asia”>

#### Shunsuke Kamijo

Investigation on the introduction of intelligent transport systems in Asia and Study on guideline development

#### Takaaki Hasegawa

Toward the mobility-oriented heterogeneous transport system based on new ICT environments – Understanding from a viewpoint of the systems innovation theory

#### Hiroshi Makino, Kazuya Tamada, Koichi Sakai, Shunsuke Kamijo

Solutions for urban traffic issues by ITS technologies

#### Tokushi Nakashima

Creating credit by making use of mobility with FinTech and IoT

#### Agachai Sumalee, Hung Wai Ho

Smarter and more connected: Future intelligent transportation system

#### Haruo Ozaki

Technical standardization of ITS and Asian initiatives for intelligent mobility

### <General Topics>

#### Firman Permana Wandani, Maimunah Siti, Masashi Yamamoto, Yuichiro Yoshida

Spatial econometric analysis of automobile and motorcycle traffic on Indonesian national roads and its socio-economic determinants: Is it local or beyond city boundaries?

#### Nguyen Duc-Nghiem, Nguyen Hoang-Tung, Aya Kojima, Hisashi Kubota

Modeling cyclists' facility choice and its application in bike lane usage forecasting

## 第59回IATSSフォーラム修了

IATSSフォーラムは、1985年よりアジア10カ国(カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)から研修生を招き、次世代若手リーダー育成のための研修を行っています。

修了生たち(58回までの累計:1,011名)は、政府機関、大学、企業、NPO等で活躍すると共に、各国、地域の課題に対応すべく、ボランティア活動にも積極的に参加しています。

第59回は、2018年5月19日から10カ国20名が参加して始まりました。

鈴鹿を拠点に鳥羽、神戸、京都、東京を訪問し、政治、環境、交通をはじめとするセミナー、視察、国際交流、ケーススタディ等、55日間の研修を行い、7月7日には無事修了式を迎えることができました。

研修テーマとして「持続可能な地域・社会づくり」を設定し、武内会長による導入セミナーをはじめ、事例研究、講義等を通じて、地域・社会をより良くするために

何が必要なのか、住民・企業・行政がどのように連携すべきか、「共に考え、共に学ぶ」を実践しました。

文化的背景・専門分野の異なる研修生たちは、積極的に知識を共有し、切磋琢磨しながら真剣に研修に取り組みました。その成果として、研究発表会では、各グループより以下の3つのプロジェクトが提案されました。

1. カンボジアの貧困対策の一つとして、農家の収入向上を目指し、農家と消費者をダイレクトにつなぐオンライン野菜販売を進めるプロジェクト
2. タイで深刻化しているごみ処理問題を取り上げ、子供たちに対して「体験学習を通じた環境保全への意識を高める活動」を行っていくプロジェクト
3. インドのカシミール地方のサフラン生産農家の生活レベル向上のため、供給先の拡大と共に、天候の影響を受けにくい栽培法の普及や栽培領域の拡大など、若者にとっても魅力的な職業として確立させていくプロジェクト

研修生の中には、早速、これらのアイデアを自国に持ち帰り、同窓会と連携して実現させようという動きも出ています。

研修生からIATSSフォーラムのリーダーシップ研修に対する生の声を聞く機会である振り返り会では、「長所、短所を含めて自分自身をより理解する良い機会となった。リーダーたる者、メンバーをマネージする前に、まず自分自身をよく知り、自己マネージメントすることが重要であると感じた」「文化的にもバックグラウンドも、また専門性も異なる多様な研修生との関わりを通じて、大きな刺激を受け、考え方も視野も大きく広がった」など、多数の賞賛の声を聞くことができました。

研修生おのおのが研修中に培った知識・体験・人との絆を活かし、将来を担うヤングリーダーとして、さらに成長し、グローバルに活躍してくれることを期待しています。



▲ グループ研究発表会の様子



▲ 民族衣装を身にまとった研修生